

審判心得 1. 球審

白山市学童野球連盟 審判部長 西 正康

試合前メンバー表交換・トスの際に伝えるべきこと

- ① ランナーコーチは攻撃前のミーティングには参加せず、ただちにコーチスボックスへ入ること
- ② 攻守交替は駆け足で
- ③ 1 塁側・3 塁側ファールグラウンドが狭く、グラウンドのすぐそばに遊具・鉄棒などの障害物がある会場では、ファールフライを追いかける選手が衝突・負傷の危険があると予測できる場合には、捕球もしくは捕球体制に入る前にファールボールをコールすることがあると説明。
その場合、コールと同時にボールデッドとし、処置は通常の場外ファールと同じとする。
＝選手の安全を最優先とするため
- ④ 監督へ＝選手の健康状態を考え、水分補給は特に気を配ること

試合中

- ① 打者がベンチのサインを見る時、両足はボックスの中に必ず置くよう指示
- ② 捕手が捕球時ミットを動かした場合（ボールコースでの捕球からストライクコース内へミットを動かす等）は動かさぬようその都度注意
- ③ ボールのコールに対し、いつまでもミットを動かさず無言でストライクをアピールする行為をやめさせる
＝②・③は今年の本塁の重点注意事項です
- ④ ボールデッドの後、投手は必ず足をプレートに触れ顔はホームに向けて球審のプレーボールのコールを聞くこと
- ⑤ 捕手が防具を身に着ける際は必ずベンチの前で行うよう指導。数人が手伝うこと
- ⑥ 控え捕手がない場合、
ジュニア＝監督・コーチが代わりに務めることは OK
レギュラー＝野手（おもに 3 塁手）が中腰で投手の投球を受けるよう指示

最低限、以上の内容を両チームに伝え、あるいは注意・指導してください